

学校名 川口市立新郷南小学校
所在地 川口市江戸3丁目12-1
電話 048-281-5777

1 本校の概要

本校は、「夢をはぐくみ 学びを拡げ 未来にはばたく 南つ子の育成」をキャッチフレーズに児童の育成をしている。学校図書館のほぼ全ての本を電算化し、学校図書館の活性化を図っている。読書活動では、PTAや保護者の協力もあり、新書の購入も積極的に取り組んでいる。

読書紹介や児童による読み聞かせなど本校ならではの取組を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 学校図書館の情報センターとしての活用
- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 調べ学習・学校図書館司書の活用

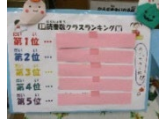
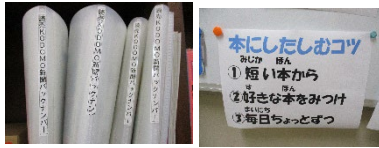
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら取組を行った。今年度は学校全体での取組はあまりできなかったが、クラスでビブリオバトルや読み聞かせに取り組むクラスも増えた。11月には読書でBINGOを計画している。

昨年度に引き続き司書教諭と学校図書館司書が年度当初にオリエンテーションを行った。本の配架や、日本十進法についての指導をクラスごとに行った。学校図書館に新たに新聞コーナーや、情報共有スペースを設け、情報センター機能を充実させたため、児童は調べ学習など積極的に取り組むようになった。

イ 「しんニャン読書紹介」の取組について

読書紹介は、ビブリオバトルへの準備段階として取り組んだ。読書の推進や、本の紹介をすることで表現力や読む・聞く力の習得を目指して行った。

今年度は図書委員のオススメ本を募った。



1年生の読み聞かせの様子

3 成果と今後の課題

(1) 成果

今年度は7334冊の貸出を行った。昨年度から更に分類ごとの貸出数が増えており、読書の質が向上している。貸出冊数は伸び悩んでいるが、ページ数の多い本の貸出が増えたと言える。また、情報センター機能を強化したことにより、教師からも購入希望の本が具体的にになっている。「こういう本が読みたい」と意見が持てる児童が増え、興味のある本の質問をする児童も多くなる。

読書活動を進める上で、新書やほとんどの本を読み尽くしている児童や、新書を楽しみにしている児童も多いため、引き続き購入を検討していきたい。

令和2年6月～ 12月	令和3年4月～ 12月	令和4年4月 ～11月
10544冊	9459冊	7334冊

分類ごと	1類	2類	4類	9類
令和2年度	7	19	259	83
令和3年度	36	81	279	407
令和4年度	418	95	280	1029



読書紹介の取組をすることで、自分の思いを表現する力が高まっている。しかし、読書感想文で思いを形にできない児童も少なからずいる為、学校図書館にポイントを掲示するなど工夫していく。読書に興味を持つ為の掲示物の工夫も行っている。

(2) 課題

- ・ 各学年での年間指導計画に基づく指導や学校図書館司書との協力体制を充実させる。
- ・ 情報センターとして児童が授業等で活用できるような資料を充実させる。

(3) おわりに

今まで様々な取組をしてきたが、学校全体での取組以外に、各学級担任が読書活動に進んで取り組む機会が増加した。今後も図書館の活用方法を創意工夫し、本との関わりを増やし、読書好きの児童を育てていきたい。

本校キャラクター
しんニャン



読書紹介の取り組み手順

- ①読書紹介の記入 (全児童)
- ②クラスでチャンプ本の投票
- ③感想・意見の記入 (全児童)
- ④図書委員会で投票の集計
- ⑤チャンプ本児童の掲示・購入
- ⑥児童集会で発表 (放送)